

風評被害なんて、どこにもないじゃない

佐渡汽船問題、21日の文教経済常任委員会で指摘しました

21日、文教経済常任委員会があり、17日に発表された「小木直江津航路に関する関係者会議の合意について(案)」の説明がありました。簡単に言えば、次のようです。

平成19年6月までは、利用者数が上向き傾向だったが、7月に中越沖地震が発生し、風評被害によって利用者数が大幅に減少してしまっただけで約2億円の赤字になる。このままでは立ち行かなくなるので、抜本的な収支改善策を行なう。その中心は、小木直江津航路の2隻体制をやめ、1隻体制とする。

「合意(案)」を心配するいろいろな意見が出されました。委員の発言が終わったところで昼食休憩時間に入っていました。したが、番外(委員外)発言を求め、次のように指摘しました。

「合意(案)」の核心は、中越沖地震の風評被害で赤字になり、それが来年度も続くということにあります。しかし示された資料(下表)を見てもその影響はどこにも見えません。平成19年の輸送実績が示されています。中越沖地震は7月でしたが、その7月の前と後で輸送

19年 月	航路全体		新潟両津		寺泊赤泊		小木直江津	
	輸送人員	対前年比	輸送人員	対前年比	輸送人員	対前年比	輸送人員	対前年比
1月	79,755	3.41%	77,788	2.97%	119	495.00%	1,848	18.16%
2月	66,886	▲0.11%	65,317	▲0.50%	117	37.65%	1,452	18.43%
3月	109,160	▲11.22%	103,351	▲12.24%	237	▲32.67%	5,572	15.27%
4月	136,404	▲7.80%	113,839	▲10.51%	2,294	71.19%	20,271	4.52%
5月	193,279	▲8.63%	156,889	▲8.08%	4,784	▲28.63%	31,606	▲7.43%
6月	189,608	▲1.87%	150,431	▲0.50%	7,449	1.75%	31,728	▲8.61%
7月	184,751	▲13.51%	138,545	▲15.74%	9,438	3.05%	36,768	▲8.14%
8月	326,825	▲8.16%	249,190	▲8.25%	10,947	▲17.35%	66,688	▲6.14%
9月	164,230	▲2.94%	133,418	▲2.88%	5,820	▲13.79%	24,992	▲0.36%
10月	168,097	▲7.98%	133,391	▲6.42%	3,585	▲11.98%	31,121	▲13.70%
11月	137,121	▲4.52%	114,397	▲7.08%	236	▲50.00%	22,488	12.25%
12月	85,940	▲1.43%	83,942	▲1.56%	67	1.52%	1,931	4.38%
合計	1,842,056	▲6.58%	1,520,498	▲6.85%	45,093	▲9.06%	276,465	▲4.66%

実績に大きな違いが見られません。3月の能登沖地震と7月の中越沖地震のその月だけ若干落ち込んでいるだけです。19年は初めからずっと落ち込んでいるのであって、風評被害が原因ではありません。「ついでに」ならぬ理由をもとにした「合意(案)」には、何も根拠がないということです。私は、認めません。

終了後、この「合意(案)」の背景を考えてみました。

「経営改善のため」として県と上越市・佐渡市に2億円出させたが、いつに利用客がふえない。このまま行けば議会で問題にされる。1隻体制にしたいが、どうしようと思っていた矢先に中越沖地震が起きた。「しめた、これを理由にしよう」ということではないかと思えます。

佐渡汽船というのは、県が50%以上出資している会社ですが、信用ならない会社のようにうです。

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2008年1月27日 No.172
発行・杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832